

## 藤城子育てサロン かめっこひろば 開催のお知らせ

月	日時	申込期間	場所	内容
2	14日(金) 10時30分 ～11時30分	2/3 ～2/12	京教大附属 特別支援学校	保育士さんと遊ぼう キッチンオーケストラ・ひな人形作り 2月生まれお誕生日会
	28日(金) 10時30分 ～11時30分	2/17 ～2/26	藤城児童館	親子ふれあい遊び 身体を動かそう
3	14日(金) 10時30分 ～12時00分	2/28 ～3/10	京教大附属 特別支援学校	【児童館合同】 親子にこにこイベント ママのお茶席 3月生まれお誕生日会

深草支所子どもはぐくみ室 室長 山下 貴史

「かめっこひろば」は、宮杉会長、南副会長をはじめ藤城学区社会福祉協議会の皆様、岩堀様をはじめ藤城民生児童委員協議会の皆様、佐々木館長をはじめ藤城児童館の皆様、福中先生をはじめ墨染つどいの広場ほっこの皆様、京都教育大学附属特別支援学校の皆様、地域のボランティアの皆様とのご協力のもと、子育て家庭の親子が気軽につどい、相互にふれあい交流しながら子育てについての情報交換などを行う場として、2003年(平成15年)から20年以上の長きにわたり毎月活動されてきました。改めまして、地域ぐるみで取り組まれている多くの関係者の皆様のあたたかいご理解と多大なるお力添えに敬意を表しますとともに、心から深く感謝申し上げます。

私もスタッフの一人として「かめっこひろば」に何回かお手伝いさせていただく機会がございましたが、活動拠点場所である藤城児童館や京都教育大学附属特別支援学校において、毎月のお誕生日会はもとより、豊かな自然環境の中で育まれた玉ねぎ、さつまいも、大根の収穫体験、水遊び、うんどうかい、クリスマス会、お茶会など参加された親子(平成6年4月～12月まで15回開催：168組参加)がワクワクして楽しんでいただける内容となっており、関係者の皆様がこれまで熱心に趣向を凝らしながら創意工夫されて活動されていることを肌で感じさせていただきました。

また、参加された保護者の皆様からは、「同年齢の子どもとたくさん出会えて子どもが喜んで遊んでくれる。」「同じように子育てしている方と知り合えるのがいい。いつも家の中だけの生活から解放されストレス発散になる。」などととても喜んでおられる感想が多く寄せられ、親子の中には何回も参加されている方もいらっしゃいます、

未就学児がいらっしゃる保護者の皆さん、是非お気軽に「かめっこひろば」にご参加されてみてはいかがでしょうか。とても楽しいですよ！心よりお待ちしております！

# 藤城福祉だより

第116号

発行日：令和7年2月17日

発行責任者：藤城学区社会福祉協議会広報部

「ごあいさつ」

藤城学区社会福祉協議会 会長 宮杉 曠

新春のご挨拶を申し上げます。地域の皆様には益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

年初よりコロナ感染者は減少傾向にありますが、並行してインフルエンザの感染者が過去最多になったと新聞紙上で報じられています。社会福祉協議会の事業も、徐々に、以前の状態に戻つつありますが、まだまだ油断がならない状況で有ります。ご高齢者の皆様も色々な場所に出かけて行ける様になれば、楽しみも多くなることでしょう。去る1月15日、「ロームシアター京都」にて社協と民生合同の地域福祉セミナーが開催されました。テーマは「子供の居場所と地域づくり」と題しての研修会でした。席上講師からは、皆さんの居場所は有りますかとの問いに、何人かが答えておられました。居場所感を構成する要素として「リラックス」「やりがい」「プライベート」が挙げられます。「自宅」「職場」「所属する会」「人と会話の出来る場」「お友達とお茶をしながら過せる場所」等になるのでしょうか、社協の開催する事業の中で「各種会合」や「すこやか学級」「かめっこひろば」「お食事会」等が、皆様にとってよい居場所になればと願う次第です。本年度も地域の皆さまのご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。



【健康すこやか学級報告】

担当理事 迫之上いずみ

立春を過ぎようやく春が近づいてきましたね。今年も【すこやか学級】は1月9日から参加者の皆さんと楽しく賑やかにスタートしました。初めての方もお待ちしております。

○ 1月9日「福笑い」と「双六」のレクリエーション

「大きなお多福やね～」と、床に広げられたお多福に笑い声があちこちから。

立って、そのお多福に目や鼻や口を下にポイっと置いていきますが、なかなか思う所に行きません。出来上がっての感想をインタビューしました。

「置く時のコツが分かりました！」さすが！期待したボランティア体験の福祉委員さんからは、「年に関係ありません。」等々、みんなが福笑い。



「双六」ゲームは3チームに分かれ特大サイコロを振って途中の(皆で歌う、笑う、けん玉、早口言葉)等をクリアしながら進みます。あと少しの所で(5つ戻る)や(1回休み)が出てなかなかゴール出来ません。サイコロの目にみんなの目も釘付けになりました。



○ 1月16日「干支の色紙」のクラフト

今年の干支である蛇を折紙で鎖のように繋げ色紙に漢字の『己』や平仮名の『み』、中にはとぐろを巻いた蛇にして貼っていきます。顔にはキラリと目を付け最後に今年の抱負を書き添えました。



すこやか学級って  
どんなところ？

『誰でも行けるの？』 「ハイ、65歳以上で支援1,2の方もどうぞ」  
『何処でしてるの？』 「北堀体育館向かい側、藤城の家1階です」  
『いつ？何時から？』 「第2,第3木曜日の10時~12時まで」  
『申し込みは？』 「いりません。上靴を宜しく。無料です。」  
『自治会に入ってないけど？』 「まずは いらして下さい。」

～健康すこやか学級ボランティアの声～

昨年からボランティアとして参加しています。参加者の皆さんといっしょにレクリエーションをしたり、物を作ったりすることが楽しくて今後も続けていこうと思っています。活動をしていてすごいと思ったことは、ボランティアの方々が、準備に相当な手間をかけ、論議をしていることです。クラフトならどんな作品を作ったら喜んでもらえるのかだけでなく、試作をして、どの作業で苦労しそうか、どこまで下準備が必要かなど考え、準備をしておられます。レクリエーションも同様です。

これだけ手間をかけた「すこやか学級」なので楽しくないはずがない！私も一助になるよう励んでいきたいと思います。楽しそうと思った方は是非参加してみられてはいかがでしょうか。

A.T



一昨年、町内の福祉委員の時、すこやか学級でボランティア体験をさせていただいてから、月2回のレクリエーションとクラフトにボランティアというよりは、参加者の皆さんと一緒に楽しく過ごさせていただいています。そして、貴重な体験とともに多くのことを学ぶことができました。特にクラフトの時、一緒に作品を作る中で、参加者の皆さんの手先の器用さや創造性に驚かされました。完成した作品を見せ合い達成感を共有できたのも嬉しかったです。

ボランティア活動を通して人とのつながりの大切さを実感し、自分自身も成長していきたいと思っています。

秦 弘美